



2012年(平成24年)10月期

決算説明会資料

株式会社オービス

代表取締役社長 なかはま ゆうじ
中浜 勇治

(大阪証券取引所(ジャスダック市場)、証券コード:7827)

2012年12月20日

●目次

| | |
|-----------------------------|-----------|
| PART1 会社の概要 | 3 |
| ●プロフィール | 4 |
| ●経営理念・沿革 | 5 |
| PART2 事業の特長(強み) | 6 |
| ●木材事業のビジネスフロー | 7 |
| ●木材事業の特長 | 8 |
| PART3 2012年10月期の連結業績 | 11 |
| 1. 連結損益計算書 | 12 |
| 2. 売上高・当期純利益の増減要因 | 13 |
| 3. セグメント業績 | |
| ●木材事業 | 14 |
| ●ハウス・エコ事業 | 15 |
| ●アミューズメント事業 | 16 |
| ●不動産事業 | 17 |
| 4. 連結貸借対照表及び連結キャッシュ・フロー計算書 | 18 |

| | |
|--------------------------|-----------|
| PART4 市場環境と今後の取組み | 19 |
| ●木材事業の市場環境 ① | 20 |
| ●木材事業の市場環境 ② | 21 |
| ●木材事業の市場環境 ③ | 22 |
| ●木材事業:今後の取組み | 23 |
| ●ハウス・エコ事業の市場環境 | 24 |
| ●ハウス・エコ事業:今後の取組み | 25 |
| ●アミューズメント事業の市場環境 | 26 |
| ●アミューズメント事業:今後の取組み | 27 |

| | |
|-----------------------------|-----------|
| PART5 2013年10月期の業績予想 | 28 |
| 1. 連結業績予想(通期) | 29 |
| 2. 第2四半期連結累計期間 業績予想 | 30 |
| 3. 業績予想の要旨 | 31 |
| 4. 予想配当 | 32 |
| PART6 中期計画の概要 | 33 |
| ●連結売上高 | 34 |
| ●連結経常利益及び連結当期純利益 | 35 |
| ●本資料お取扱上のご注意・IR担当窓口 | 36 |

PART1

会社の概要



ニュージーランドの松林(写真提供:住友林業株式会社)

ニュージーランド松製材の国内最大手

当社グループは、木材、ハウス・エコ、アミューズメント、不動産の4つの事業を基盤にビジネスを展開しております。特に主力の木材事業では、ニュージーランド松(ラジアータパイン)製材の国内最大手の評価を頂いております。

| | |
|---------|---|
| 会社名 | 株式会社オービス |
| 設立 | 昭和34年11月 |
| 代表取締役社長 | 中浜 勇治(なかはま ゆうじ) |
| 資本金 | 6億8,498万円 |
| 従業員数 | 240人(2012年10月末現在) |
| 連結売上高 | 97億円(2012年10月期末) |
| 事業内容 | 梱包用材等の製造、販売、プレハブハウスの製造、販売、仮設建物等のリース、一般建築の請負、太陽光発電システムの施工・販売、カラオケハウス及びゴルフ場の運営、不動産の賃貸及び売買 |
| 本社 | 〒729-0105 広島県福山市南松永町四丁目1番48号 |
| 連結子会社 | 株式会社パル TUI MARITIME S.A. (パナマ) |

●社名の由来●



当社社名の「オービス(ORVIS)」とは、ラテン語で「創設者・出発点」という意味を持つ「origao」と「パワー・効力」という意味の「vis」を組み合わせた造語です。みなぎる活力で未来を創造していきたいという企業テーマを象徴しております。

経営理念

顧客満足・社員満足

当社グループの経営理念「顧客満足・社員満足」は、「お客様が満足して使用できるものを生産・提供することにより社会に貢献し、それにより社員の生活の向上を図り、株主の皆様へ利益を還元していく」という意味をあらわしております。

■ 当社グループの主要な沿革

| | | | |
|----------|--------------------------------------|----------|--------------------------------------|
| 昭和34年11月 | 有限会社中浜材木店を設立 | 平成元年10月 | 広島市安佐北区にカラオケハウス1号店を開店 |
| 昭和37年 5月 | 広島県世羅郡世羅西町(現世羅町)に製材工場を建設 | 平成 4年 4月 | 株式会社オービスに商号変更 |
| 昭和43年 3月 | ニュージーランド松の製材工場建設 同時にプレハブ部材の生産開始 | 平成14年 8月 | 木材運搬船「グリーンホープ」(最大積載量35,000トン)完成、航海開始 |
| 昭和46年 6月 | 広島県福山市に製材工場移転 同時にプレハブハウスの完成品を販売開始 | 平成14年11月 | 中須ゴルフ倶楽部の営業譲渡を受け、営業開始 |
| 昭和49年 9月 | 有限会社中浜材木店を組織変更し、中浜木材株式会社を設立 | 平成15年 5月 | 広島県福山市に賃貸マンションを取得し、不動産賃貸開始 |
| 昭和62年12月 | 広島市西区に賃貸ビルを建設し、不動産賃貸開始 | 平成18年9月 | ジャスダック証券取引所に上場 (現大阪証券取引所JASDAQ市場) |
| 平成元年 4月 | カラオケハウスの製造販売開始 | 平成20年8月 | 木材事業姫路工場稼働開始 |
| | | 平成22年2月 | 太陽光発電システムの施工・販売の開始 |

PART2

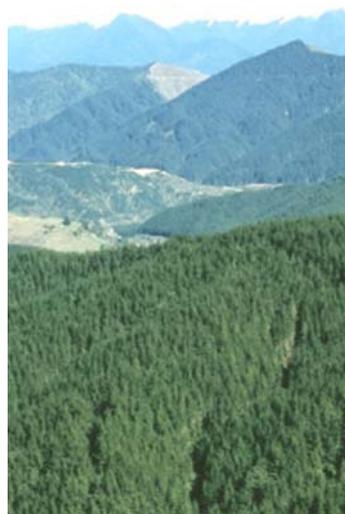
事業の特長(強み)



● 木材事業のビジネスフロー

仕入・船積

ニュージーランド産ラジアータ松の原木を現地輸出業者から直接仕入



特徴①

海上輸送

専用運搬船「グリーンホープ」で日本まで安定・低コスト輸送



港からの搬入

原木を港湾地域にある当社本社工場及び姫路工場の2ヶ所へ搬入



特徴②

大量製材

独自の大型機械化製造ラインで大量・低コスト製材



出荷

製品を顧客及びユーザーへ直送



● 木材事業の特長① 専用木材運搬船「グリーンホープ」

■ 安定した輸送コストを実現



- 専用木材運搬船「グリーンホープ」(最大積載量35,000トン)を保有
- 日本とニュージーランドの間を年間8往復し、原木を海上輸送
- 安定的な輸送手段と輸送コストを確保＝国際用船料相場の高騰に影響されない

■ ロイズ SHIPPINGエコノミストによる
不定期船定期用船料指数 (2万トン以上3万5千トン未満クラス)



■ バルチック海運指数 (ロンドン海運取引所算出)



● 木材事業の特長② 最新の「3Dスキャンシステム」と製材ライン

■ 立体解析されたデータにより自動製材



- 独自の「3Dスキャンシステム」を姫路工場に設置
- 木材をコンピュータで立体的に解析、最適な木材の切り出し図を自動判定
- 解析データによりすべての機械をコントロールし、自動的に製材を行う。

当社独自の「3Dスキャンシステム」

●木材事業の特長③ 製品の特徴

■ラジアータ松の強み

- 植林木のため資源量が豊富で安価⇒恒久的に安定供給できる
- 柔軟性に富み加工性に優れる ⇒梱包用材に最適
- 原木の直径が大きく、幅広い製品が取れる
- 計画植林のため環境負荷をかけない

■価格競争力

- 直接仕入、自社船による安定的低コスト輸送、大量製材、直接販売等により、ローコストオペレーションが確立されており、価格競争力がある

■国内挽製材による多品種、大量、速納性

- 国内2ヶ所の工場で製材をしているため、多様な顧客ニーズに合わせたきめ細かい製材明細を大量に対応することが可能
- 海外で製材する輸入製材品は、通常3ヶ月前から注文を確定しなければならない。当社は1週間程度で納品できるため速納性に優れている

●当社ブランドイメージ「安く、早く、大量に安定供給できる」

PART3

2012年10月期の連結業績

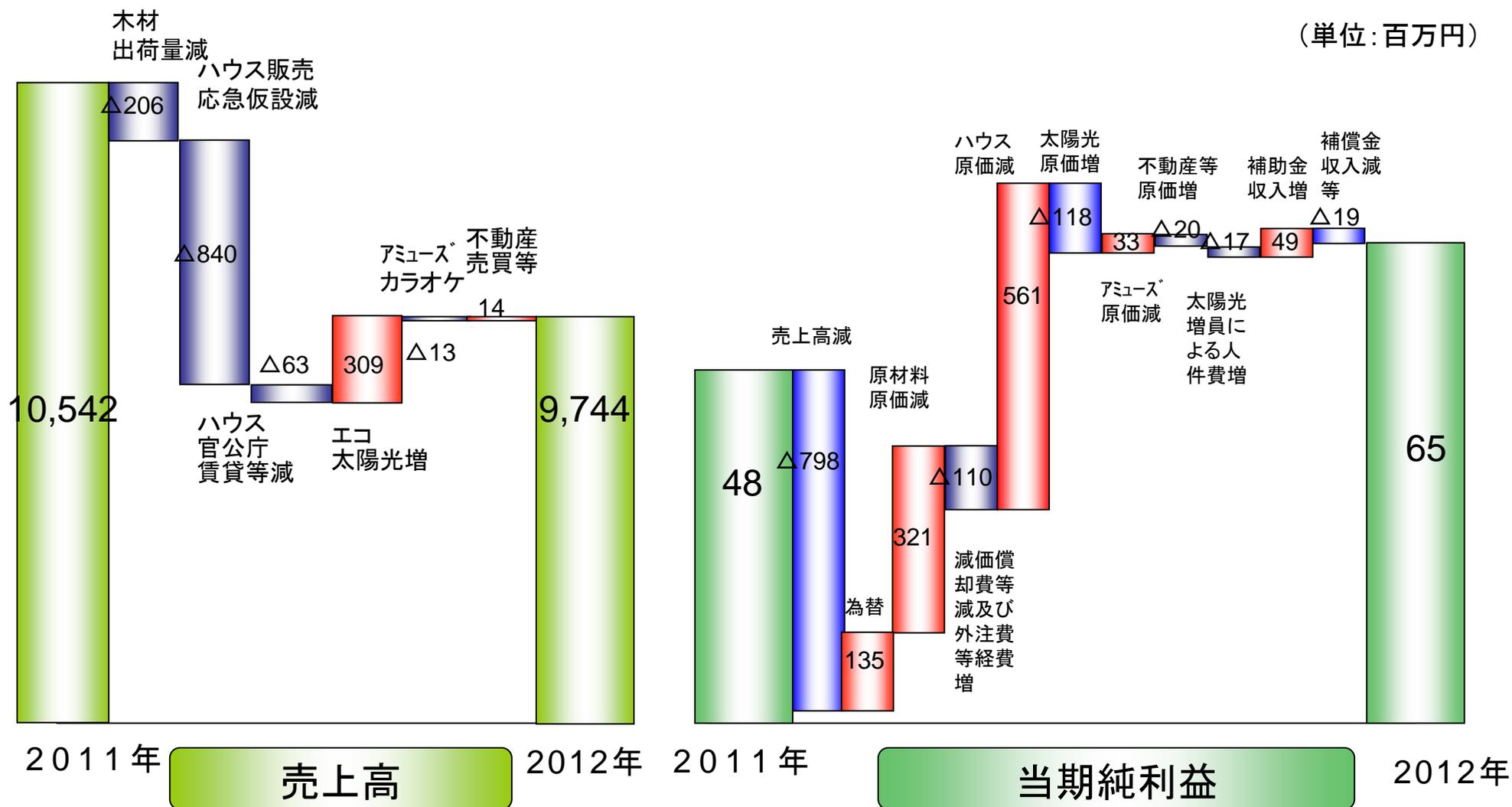
1. 連結損益計算書

(単位:百万円)

| | 2011年 | 百分比 | 2012年 業績予想 | 2012年 | 百分比 | 前期比 | 業 績 予想比 |
|----------------|--------|--------|---------------|--------|--------|--------|------------|
| 売上高 | 10,542 | 100.0% | 11,427 | 9,744 | 100.0% | 92.4% | 85.3% |
| 売上総利益 | 1,453 | 13.8% | 1,693 | 1,456 | 15.0% | 100.2% | 86.0% |
| 販売費及び 一般管理費 | 1,325 | 12.6% | 1,506 | 1,342 | 13.8% | 101.3% | 89.1% |
| 営業利益 | 128 | 1.2% | 187 | 114 | 1.2% | 89.4% | 61.2% |
| 経常利益 | 43 | 0.4% | 99 | 79 | 0.8% | 182.2% | 79.5% |
| 当期純利益 | 48 | 0.5% | 74 | 65 | 0.7% | 135.8% | 88.8% |
| 1株当たり 当期純利益 | 27.94円 | — | 42.75円 | 37.94円 | — | — | — |

- 木材事業は、世界経済の減速等による輸出の減少及び安価な国産材の台頭により、市場が縮小するも、カット材等の拡販により出荷量は前期比98.3%の減少に留まる。
- ハウス・エコ事業は、応急仮設住宅の追加工事が完工したものの、産業用太陽光発電の全量買取制の遅れから、施工が次期にずれ込み売上が予想を下回る。

2. 売上高・当期純利益の増減要因



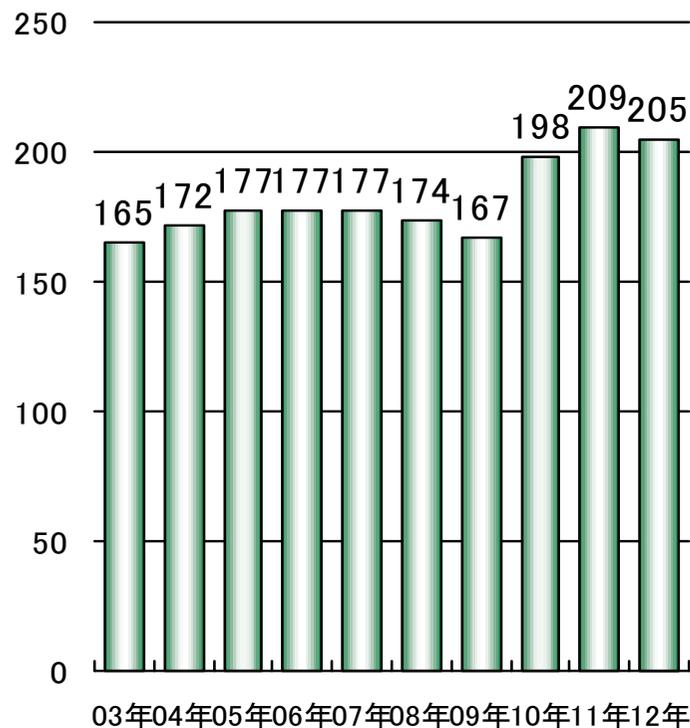
3. セグメント業績

● 木材事業

- 出荷量205千³m (前期比98.3%)、製品販売価格の横ばい(前期比99.1%)により売上減(前期比96.9%)。
- オイルが上昇したものの原木FOB価格の低下、為替円高により原木単価は前期比で93.4%となり営業黒字化。(為替レート前期比2円97銭 円高ドル安)

■ 当社製品出荷量の推移

(単位:千³m)



■ 木材事業の業績

(単位:百万円)

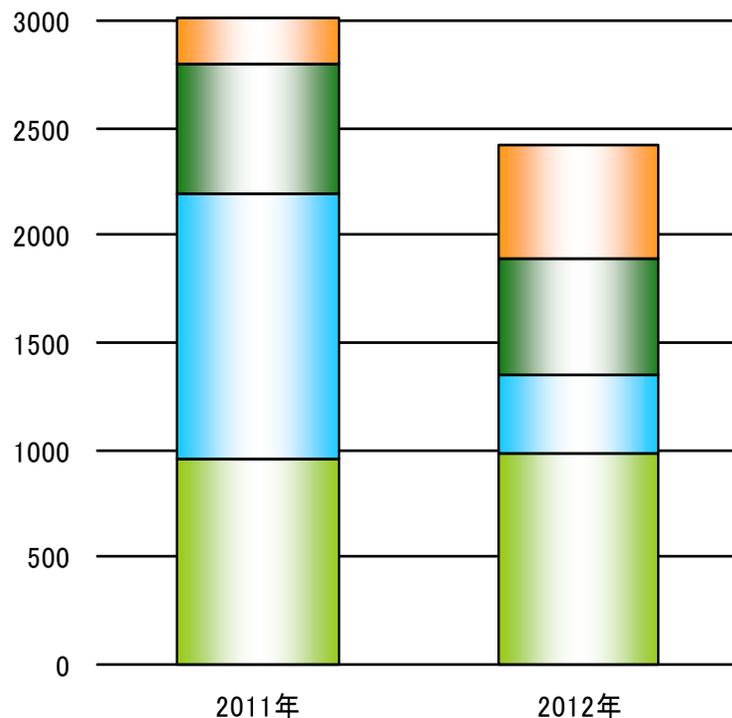
| | 2011年 実績 | 百分比 | 2012年 実績 | 百分比 | 前期比 |
|-------------------|-------------|--------|-------------|--------|-------|
| 売上高 | 6,651 | 100.0% | 6,445 | 100.0% | 96.9% |
| 営業費用 | 6,762 | 101.7% | 6,402 | 99.3% | 94.7% |
| 営業利益又は 営業損失(△) | △111 | — | 43 | 0.7% | — |
| 平均為替 レート(円) | 81.98 | — | 79.01 | — | 96.4% |

● ハウス・エコ事業

- 応急仮設住宅の寒さ対策工事等が完工したが売上減(前期比80.3%)。
- 太陽光発電システムは、全量買取制の遅れから売上が翌期にずれ込む。(期末受注残約14億円)

■ ハウス、太陽光売上の推移

(百万円)



■ ハウス一般販売
 ■ ハウス仮設住宅
■ ハウス賃貸
 ■ 太陽光

■ ハウス・エコ事業の業績

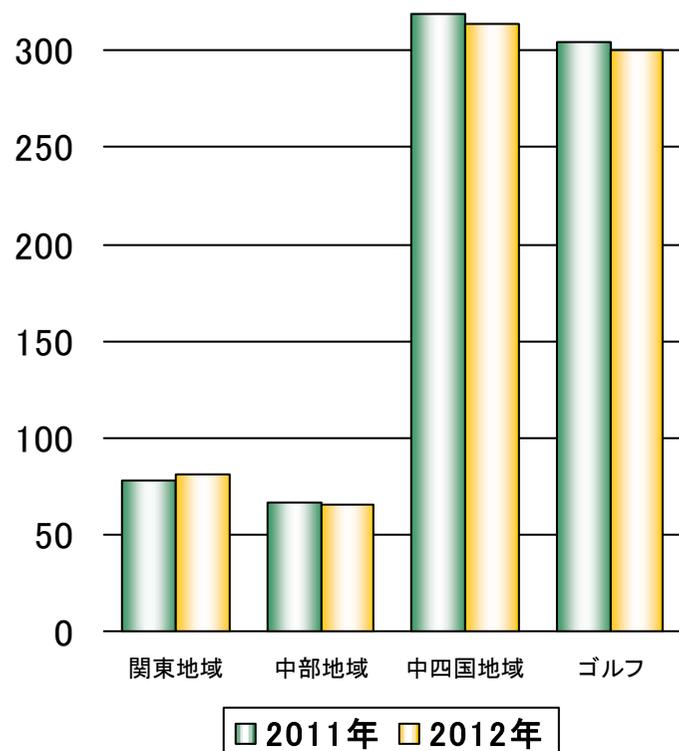
(単位:百万円)

| | 2011年 実績 | 百分比 | 2012年 実績 | 百分比 | 前期比 |
|------|-------------|--------|-------------|--------|-------|
| 売上高 | 3,011 | 100.0% | 2,418 | 100.0% | 80.3% |
| 営業費用 | 2,624 | 87.1% | 2,218 | 91.7% | 84.5% |
| 営業利益 | 387 | 12.9% | 200 | 8.3% | 51.7% |

● アミューズメント事業

- カラオケの既存店売上、ゴルフ場売上共に微減。
- 人件費、消耗品等のコスト削減により営業黒字化

■ 地域別カラオケ店舗既存店・ゴルフ場売上
前期比(百万円)



■ アミューズメント事業の業績

(単位:百万円)

| | 2011年 実績 | 百分比 | 2012年 実績 | 百分比 | 前期比 |
|-------------------|-------------|--------|-------------|--------|-------|
| 売上高 | 773 | 100.0% | 760 | 100.0% | 98.3% |
| 営業費用 | 790 | 102.2% | 755 | 99.2% | 95.5% |
| 営業利益又は 営業損失(△) | △16 | — | 5 | 0.8% | — |

● 不動産事業

- 売買物件の増加(前期1件→当期2件)及び賃貸物件の稼働率向上(前期末比9.2%増)により増収
- 売買物件の原価高及び賃貸物件の改修費用増により、営業利益は横ばい。

■ 不動産事業の業績

(単位:百万円)

| | 2011年 実績 | 百分比 | 2012年 実績 | 百分比 | 前期比 |
|------|-------------|--------|-------------|--------|--------|
| 売上高 | 105 | 100.0% | 119 | 100.0% | 113.0% |
| 営業費用 | 55 | 52.4% | 69 | 58.0% | 125.2% |
| 営業利益 | 50 | 47.6% | 50 | 42.0% | 99.7% |

4. 連結貸借対照表及び連結キャッシュ・フロー計算書

■ 要約連結貸借対照表

(単位:百万円)

| (百万円) | 2011年 | 構成比 | 2012年 | 構成比 | 増減 | 主な要因 |
|-----------|--------|--------|--------|--------|--------|------------------------------|
| 流動資産 | 5,458 | 49.1% | 5,422 | 50.5% | 99.3% | 現金及び預金、たな卸資産の減少、売上債権、前渡金の増加等 |
| 固定資産 | 5,659 | 50.9% | 5,320 | 49.5% | 94.0% | 木材事業姫路工場の減価償却による資産の減少等 |
| 資産合計 | 11,118 | 100.0% | 10,743 | 100.0% | 96.6% | |
| 流動負債 | 4,301 | 38.7% | 4,369 | 40.7% | 101.6% | 短期借入金、未成工事受入金の増加、仕入債務の減少 |
| 固定負債 | 5,467 | 49.2% | 4,962 | 46.2% | 90.8% | 長期借入金の減少、長期リース債務の増加 |
| 負債合計 | 9,768 | 87.9% | 9,332 | 86.9% | 95.5% | |
| 純資産 | 1,349 | 12.1% | 1,410 | 13.1% | 104.5% | 利益剰余金の増加 |
| 負債及び純資産合計 | 11,118 | 100.0% | 10,743 | 100.0% | 96.6% | |

■ 要約連結キャッシュ・フロー計算書

| (百万円) | 2011年 | 2012年 | 主な増減要因 |
|------------------|-------|-------|--------------------------------------|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 733 | 174 | 減価償却費、たな卸資産、仕入債務の減少、売上債権、前渡金の増加等 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △3 | △67 | 店舗立退による補償金収入の減少 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △598 | △391 | 短期借入金、長期借入金の返済による支出の増加、長期借入金による収入の減少 |
| 現金及び現金同等物の期末残高 | 840 | 555 | |

自己資本比率
 12.1% 13.1%

有利子負債比率
 67.6% 66.5%

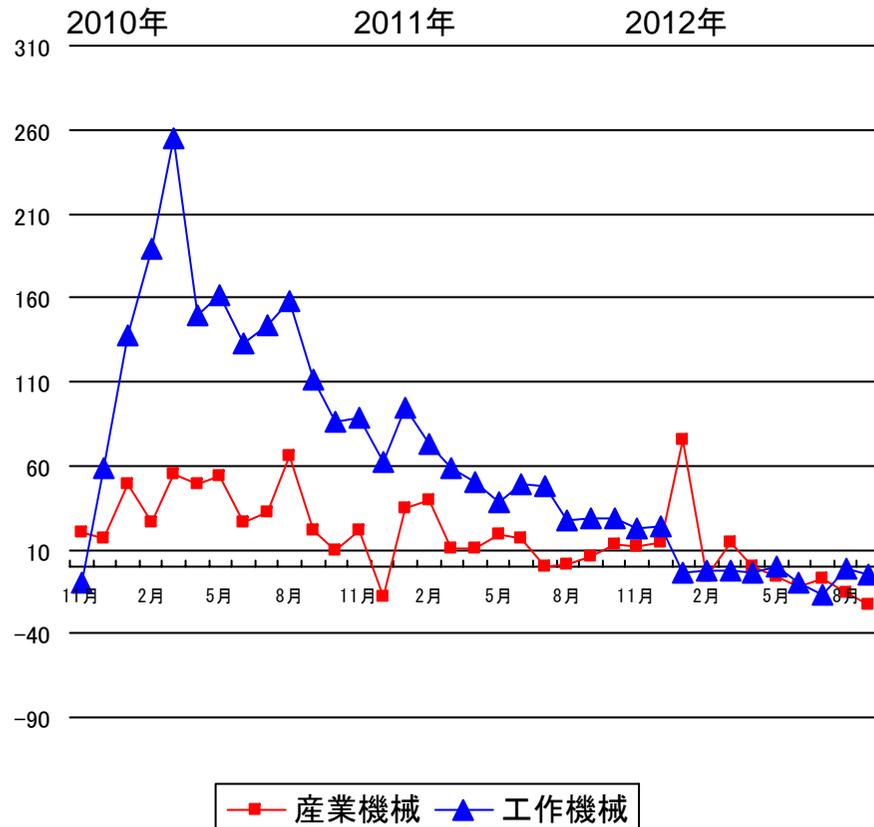
PART4

市場環境と今後の取組み

● 木材事業の市場環境 ①～梱包用材のエンドユーザーの環境

■ 産業機械及び工作機械の受注状況

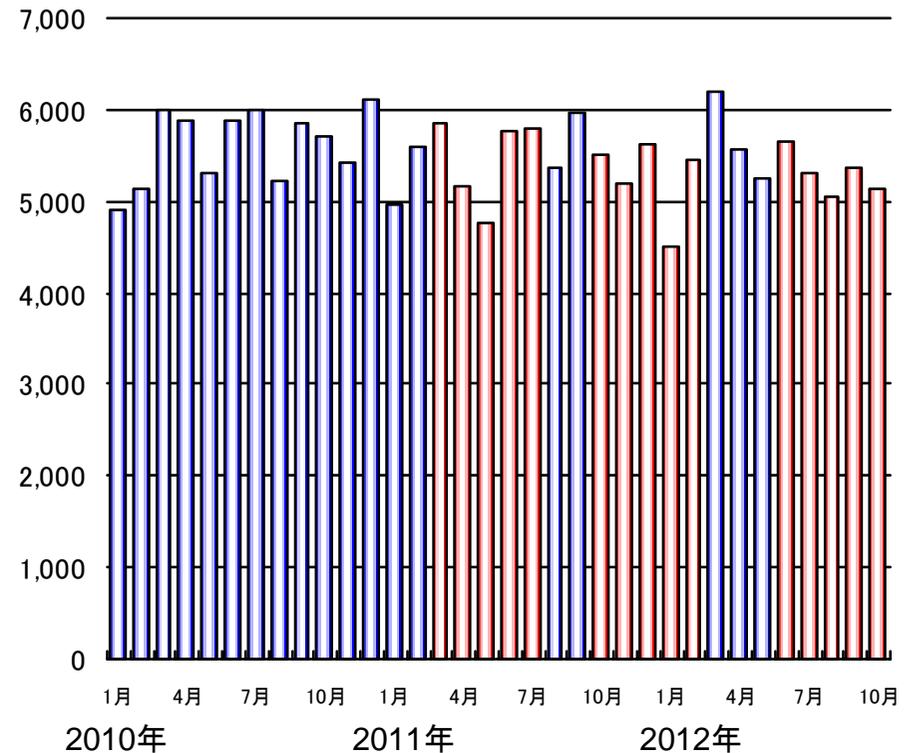
内閣府経済社会総合研究所 機械受注統計調査
前年同月比 (%)



■ 輸出の状況

財務省 貿易統計

(十億円)



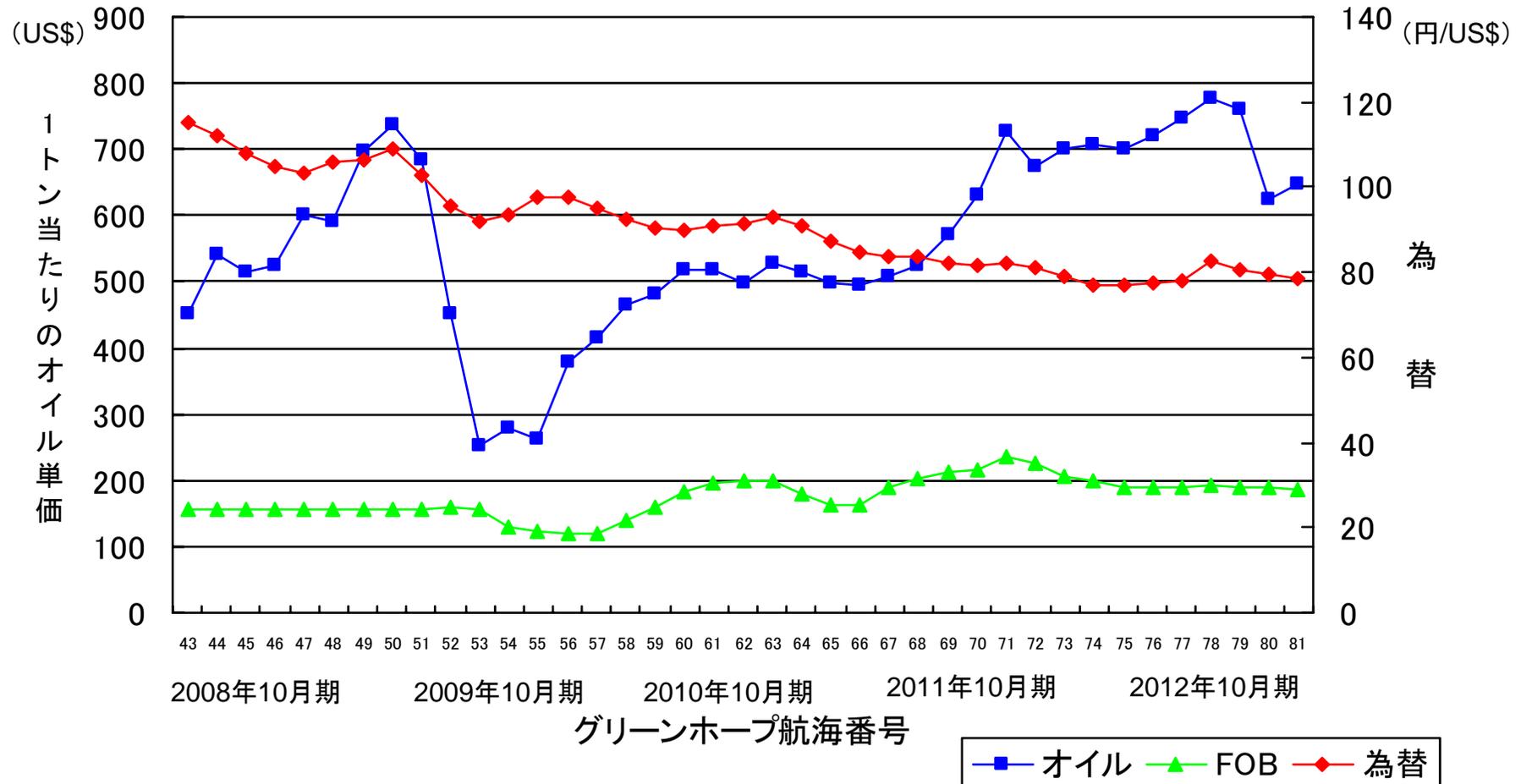
※赤いグラフは前年同月比マイナス月を示す。

● 産業機械・工作機械等の受注、輸出共に減少。

● 木材事業の市場環境 ②～原材料仕入コストの環境

■ 為替・オイル・FOBの推移

■ オイルは自社船の各航海毎の1トン当たりの単価をUS\$で表示しております。(左軸)
 ■ 為替は、各航海の平均為替レートを表示しております。(右軸)
 ■ FOBは、推移の動向を表示しており、実際の金額は公表しておりません。



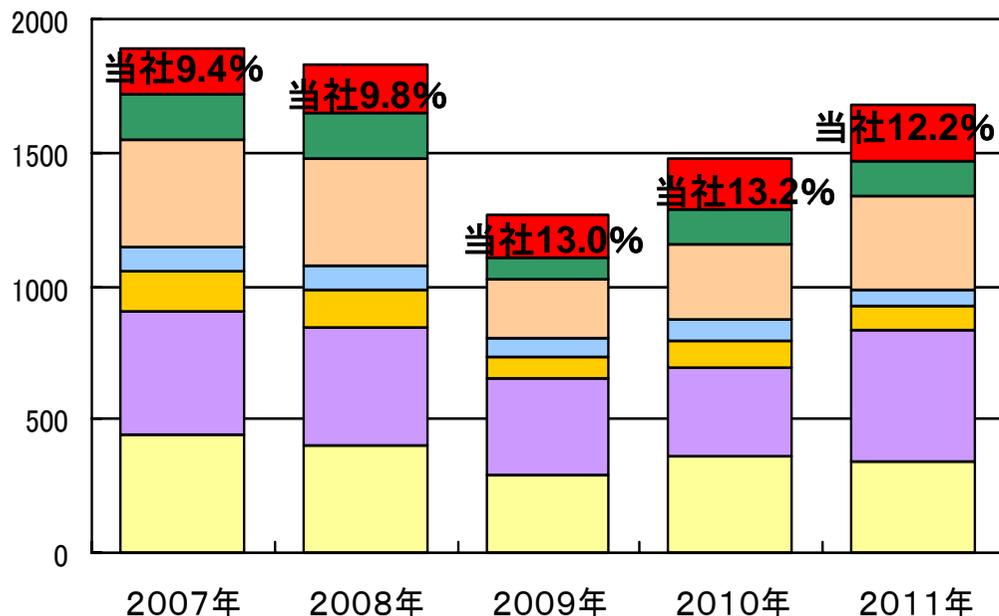
● オイルは上昇を続けた後直近で下落、為替は円高が一服。FOBは落ち着く。

※FOBとは、原木を船に積み込んで引き渡すまでの価格のことをいいます。

● 木材事業の市場環境 ③～市場シェアの動向

■ 木材梱包用材の全体の出荷量と当社の比率 単位：千㎡

| | | | | | |
|--------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 全体の出荷量 | 1,893 | 1,828 | 1,284 | 1,500 | 1,707 |
|--------|-------|-------|-------|-------|-------|



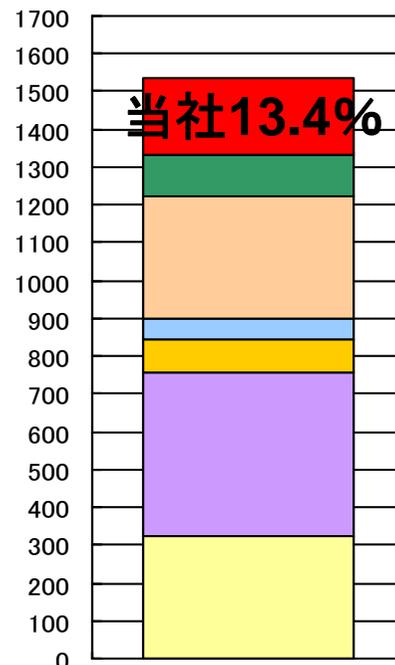
- その他の地域
- 北海道
- 高知県
- 広島県
- チリ輸入製材品
- ニュージーランド輸入製材品
- 当社

※ニュージーランド輸入製材品、チリ輸入製材品は、財務省輸入統計の通関量を表示しております。

※輸入製材品以外の出荷量は、農林水産省木材統計の用途別製材品出荷量の「木箱仕組板・梱包用材」を表示しております

■ 2011年11月～2012年10月の想定シェア

マーケットが前年から10%縮小していると仮定した場合の想定シェア



2011年11月～2012年10月
※ニュージーランド輸入製材品、チリ輸入製材品は、財務省輸入統計の2011年11月～2012年10月の通関量を表示しております。

※輸入製材品以外の当社以外の出荷量は、同期間の全体の出荷量を前年の90%と想定し、輸入製材品及び当社の同期間の出荷量を控除した残りを、前年の比率で按分した数値を表示しております。

■ 販売先数の推移

- 2008年4月 453社
- ↓ 20%UP
- 2009年4月 547社
- ↓ 20%UP
- 2009年10月 661社
- ↓ 14%UP
- 2010年10月 753社
- ↓ 6%UP
- 2011年10月 801社
- ↓ 8%UP
- 2012年10月 868社

● 木材事業: 今後の取組み

■ 出荷量 224,100m³(前期比109.0%)、販売価格の引上げ(前期比101.3%)

熱処理材、ドラム用材、カット材の拡販

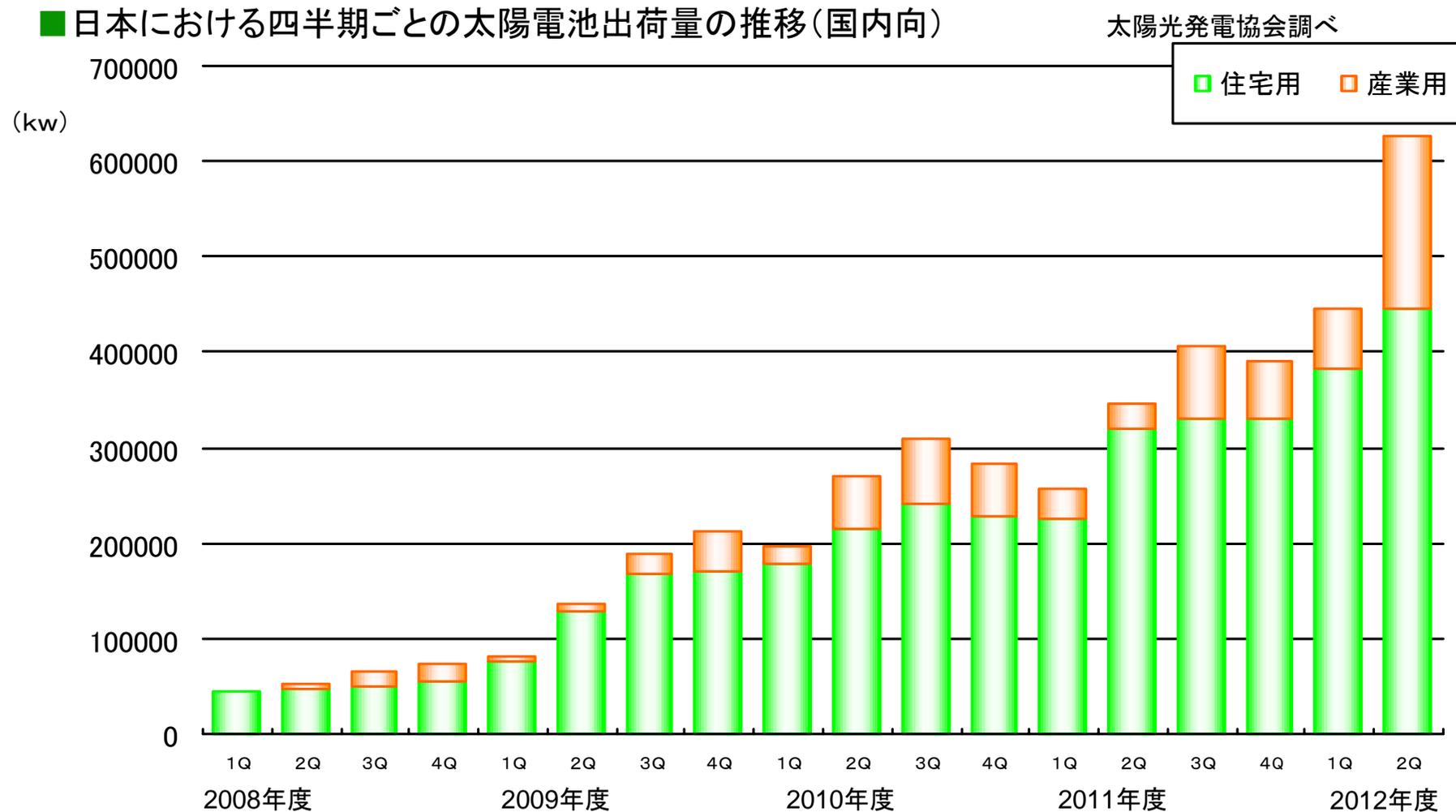
- 熱処理材 2012年11月より姫路工場にて乾燥機3号機稼働開始
納期短縮による受注の取り込み
- ドラム用材 2013年2月 センターカット機 新設稼働予定
製品精度の向上によりドラムマーケットのシェアアップ。
- カット材 パレット向け拡販を継続



カット材

当社の製材品は、4mの規格品が基本ですがお客様の要望により、事前に1m前後の長さにカットして納品する場合がございます。近年は、このカット材の需要が高まっております。

● ハウス・エコ事業の市場環境



● 全量買取制が始まり、産業用太陽光発電が急激に増加。

●ハウス・エコ事業：今後の取組み

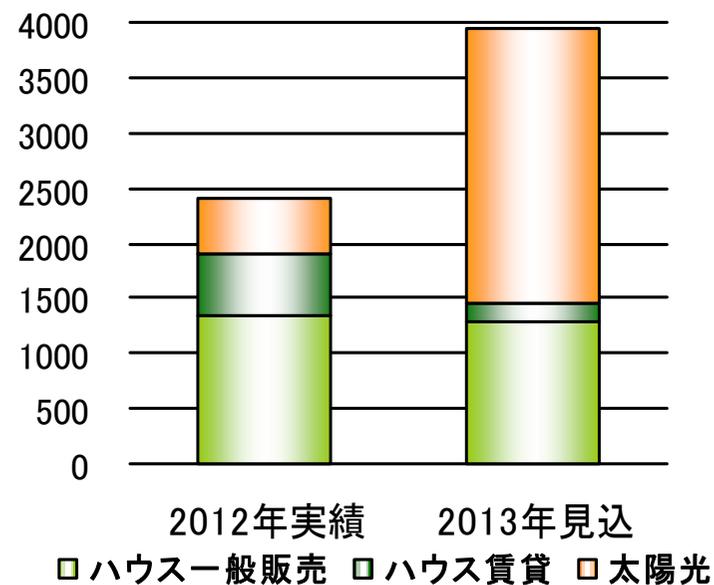
■産業用太陽光発電システムの販売・施工に全社的に注力

- 既存のハウス事業所の経営資源を利用した全国展開
既存営業社員の教育、指導
- 大型工事に対応した技術者の採用、施工体制の確立
既存工務社員の施工現場への投入、新規電気技術者の採用

■当期の太陽光発電システムの売上高25億円を目指す。 ■ハウス、太陽光売上の見込み（百万円）

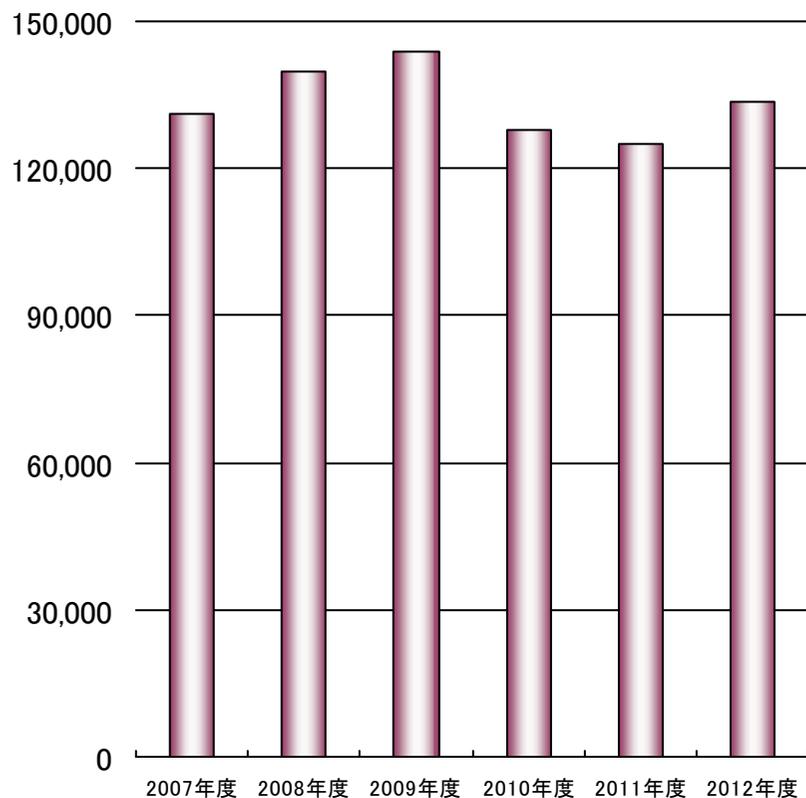


当社施工のメガソーラー（広島県世羅町）



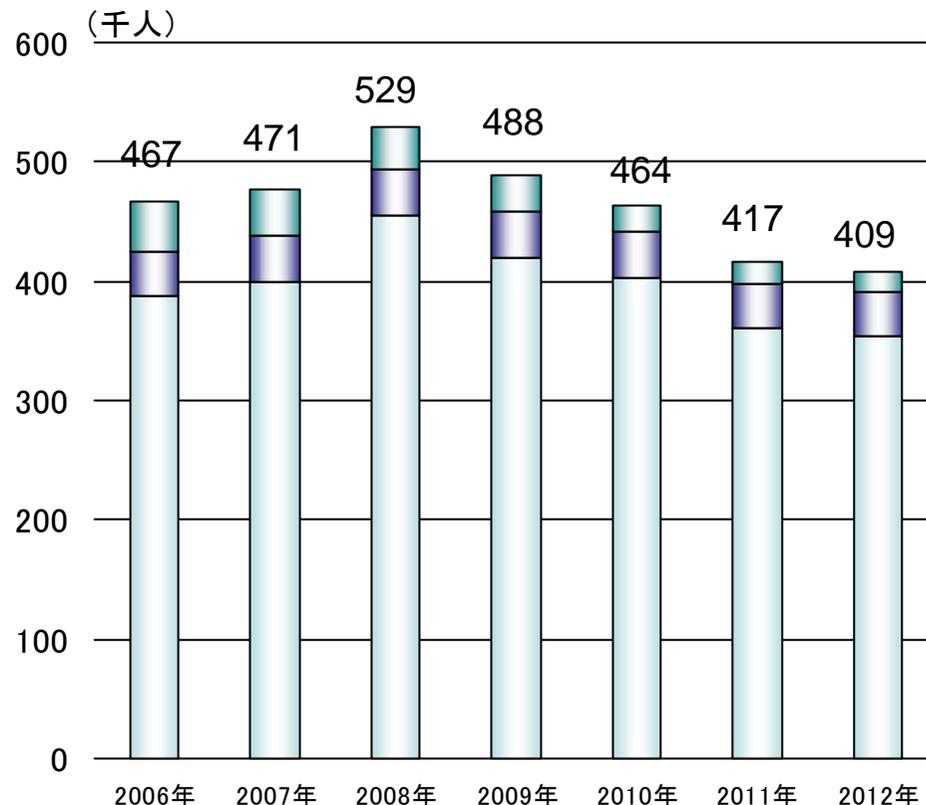
● アミューズメント事業の市場環境

■ カラオケ上場5社売上高推移 (百万円)



上場しているカラオケ5社(シダックス、第一興商、AOKIホールディングス、鉄人化計画、コシダカ)の決算短信をもとに、カラオケ事業の売上高の合計を掲載しております。

■ 当社グループのアミューズメント事業の利用者数 (千人)



□ カラオケ □ ゴルフ □ 岩盤浴

● カラオケ大手チェーン店は、売上高が回復。

● 当社の利用者数は、前期比カラオケ(△1.6%)、岩盤浴(△11.7%)、ゴルフ(+1.1%)

● アミューズメント事業：今後の取組み

■ サービスの基本教育の徹底

- 接客、清掃、基本オペレーション業務の徹底教育によるサービスの向上

■ 既存店舗の収益力の向上

- 全社統一イベントの定期的な企画と実施
- 全店統一シーズンメニューの実施
- 不採算店舗の閉鎖・業態変更の検討・実施



PART5

2013年10月期の業績予想

1. 連結業績予想(通期)

(単位:百万円)

| | 2012年 | 百分比 | 2013年 | 百分比 | 前期比 |
|------------|--------------|--------|---------------|--------|--------|
| 売上高 | 9,744 | 100.0% | 11,916 | 100.0% | 122.3% |
| 売上総利益 | 1,456 | 15.0% | 1,865 | 15.7% | 128.0% |
| 販売費及び一般管理費 | 1,342 | 13.8% | 1,472 | 12.4% | 109.7% |
| 営業利益 | 114 | 1.2% | 392 | 3.3% | 242.0% |
| 経常利益 | 79 | 0.8% | 288 | 2.4% | 263.5% |
| 当期純利益 | 65 | 0.7% | 220 | 1.8% | 235.2% |
| 1株当たり当期純利益 | 37.94円 | — | 127.18円 | — | — |

- 木材事業の製品出荷量の増加、適正販売価格への引上げ、ハウス・エコ事業の産業用太陽光発電システムの販売拡大で増収、増益

2. 第2四半期連結累計期間 業績予想

(単位:百万円)

| | 2012年 第2四半期 累計実績 | 百分比 | 2013年 第2四半期 | 百分比 | 前期比 |
|------------|------------------------|--------|----------------|--------|--------|
| 売上高 | 5,119 | 100.0% | 6,248 | 100.0% | 122.0% |
| 売上総利益 | 867 | 17.0% | 921 | 14.7% | 106.1% |
| 販売費及び一般管理費 | 687 | 13.4% | 738 | 11.8% | 107.4% |
| 営業利益 | 180 | 3.6% | 183 | 2.9% | 101.5% |
| 経常利益 | 165 | 3.3% | 130 | 2.1% | 78.9% |
| 四半期純利益 | 162 | 3.2% | 111 | 1.8% | 68.1% |

- 第2四半期(累計)は、複数の産業用太陽光発電の大型案件(500kw超)の完工を見込む。

3. 業績予想の要旨

- ◆ 木材事業の製品出荷量増加、適正販売価格への引上げにより増収
- ◆ 姫路工場の減価償却費の減少(59百万円)
- ◆ 為替レートは1ドル79円を想定
- ◆ 産業用太陽光発電システムの拡販(売上見込25億)
- ◆ アミューズメント事業の既存店舗の収益力の向上による増収
- ◆ 不動産事業の住宅用分譲地の販売による増収・増益

4. 予想配当

| | 期末配当 | 配当性向 |
|---------------|----------|-------|
| 2012年 10月期 | 普通配当 5円 | 13.2% |
| 2013年 10月期 | 普通配当 10円 | 7.9% |

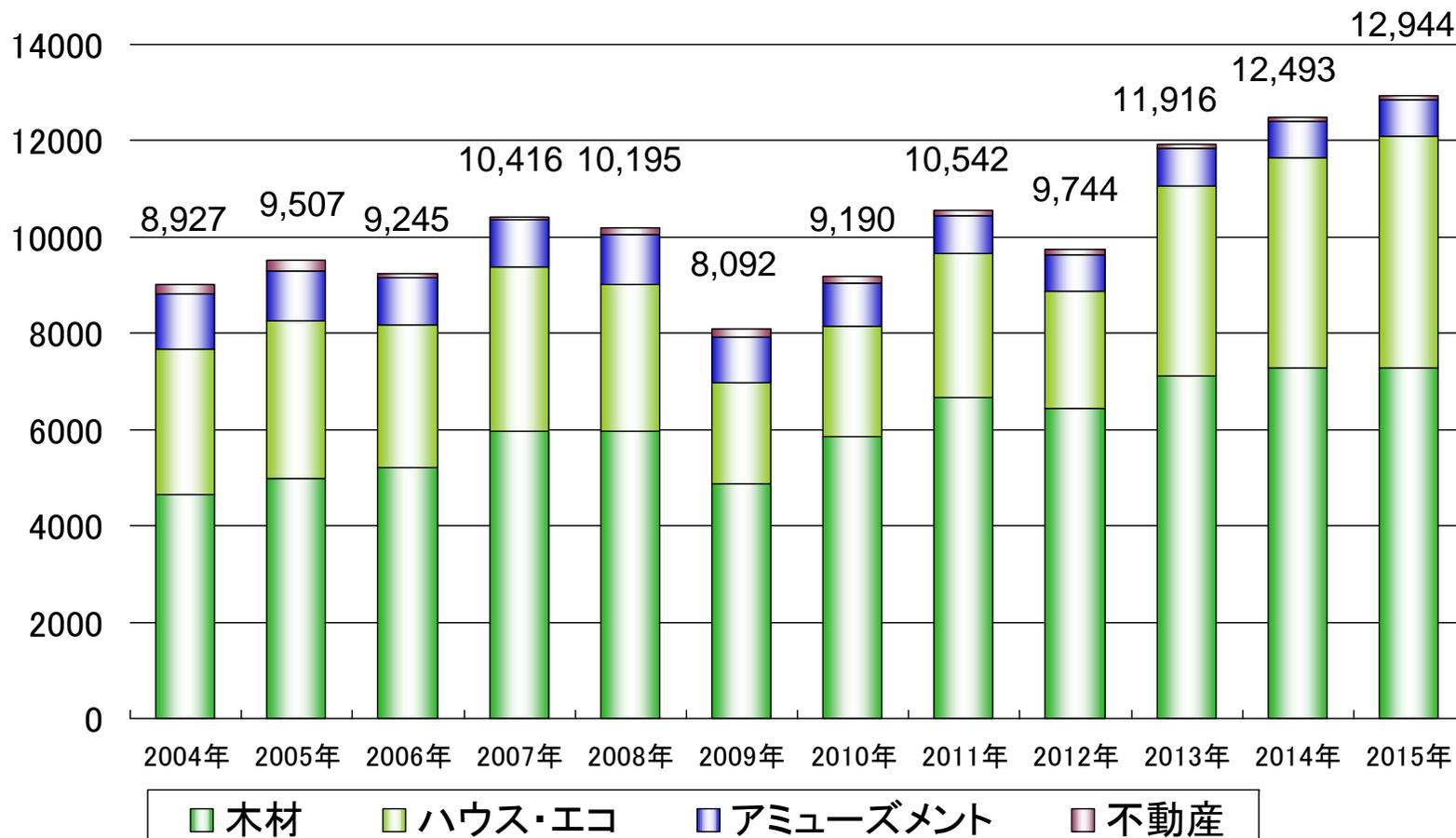
予想配当を10円に増配

PART6

中期計画の概要

● 連結売上高

(百万円)

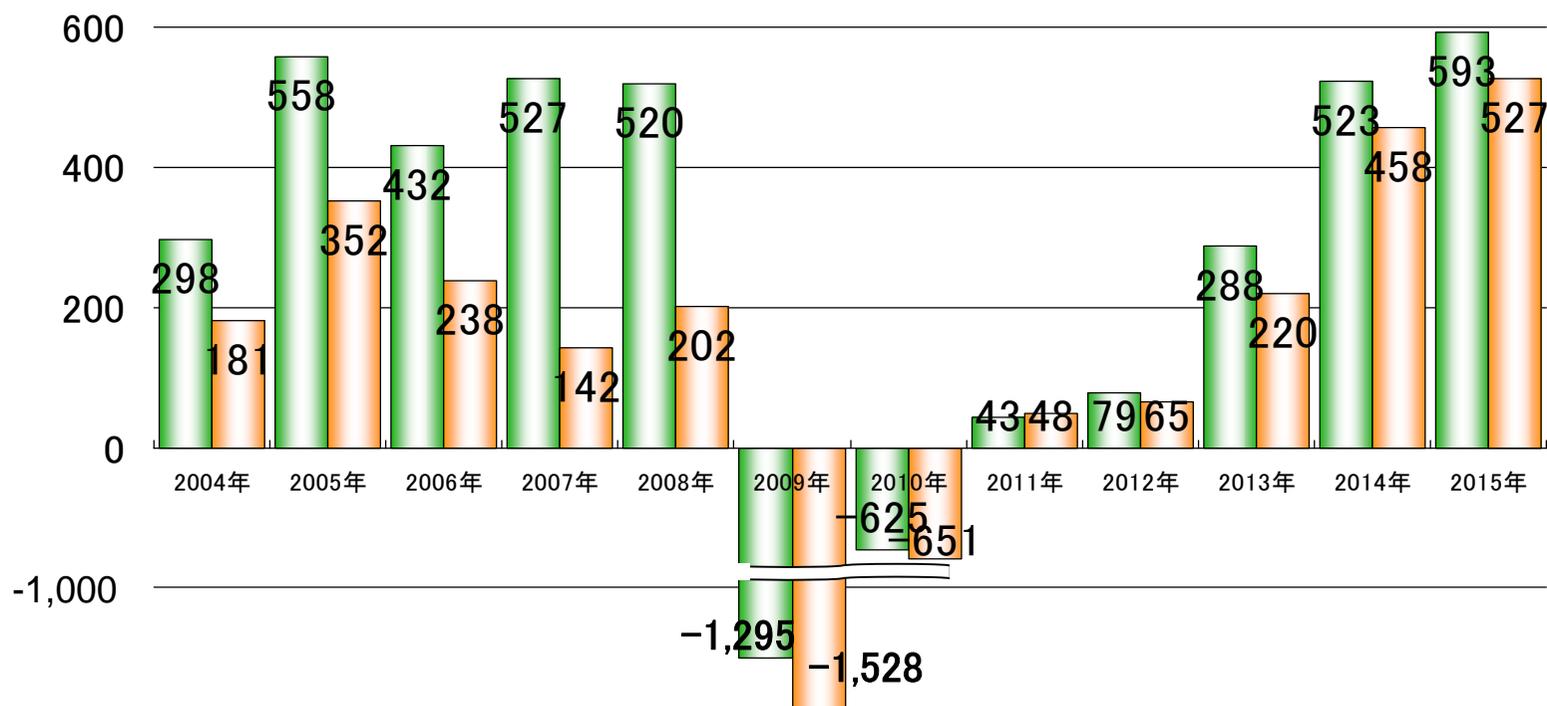


・木材事業は、品質の向上、シェアアップ営業の継続により毎年約1.2%出荷量増加、
 ハウス・エコ事業は、3年後の産業用太陽光発電システムの売上高33億円を目指す。

● 連結経常利益及び連結当期純利益

(百万円)

■ 連結経常利益 ■ 連結当期純利益



- ・ 木材事業は姫路工場の安定操業、品質向上により製造コスト単価が下がり、適正な製品販売価格を維持することで収益の安定を見込む。
- ・ ハウス・エコ事業は産業用太陽光発電システムの拡販により、増益を見込む。

●本資料お取扱上のご注意

本資料は当社をご理解いただくために作成されたもので、当社への投資勧誘を目的としておりません。

本資料を作成するに当たっては正確性を期すために慎重に行っておりますが、完全性を保証するものではありません。本資料中の情報によって生じた障害や損害については、当社は一切責任を負いません。

本資料中の業績予想並びに将来予測は、本資料作成時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれております。そのため、事業環境の変化等の様々な要因により、実際の業績は言及または記述されている将来見通しとは大きく異なる結果となることをご承知おきください。

●IR担当窓口



株式会社 オービス 経営企画室 中奥 淳史

Tel. 084-934-2621(代)

Fax. 084-934-2624

E-mail: ir@orvis.co.jp

URL: <http://www.orvis.co.jp>